

化学療法センターのご案内

【当日の流れ】

1. 中央採血室で採血をお願いします。
採血の結果が出るまでに 1 時間程かかります。
診察時間の 1 時間前には採血を終えてください。
2. 化学療法センターで問診をします。番号をとってお待ちください。
測定(体温・血圧・身長体重)のあと、問診を行います。
3. 各診察場で診察をお待ちください。
4. 診察後、化学療法センターにお越しください。



【ご準備いただくもの】

- ・ ご本人のみ飲食可です。必要な方は食べ物・飲み物をご準備してお持ちください。
臭いの強いものは控えてください。
- ・ イヤホン（貸し出しはしておりませんので、準備をお願いします。）

【化学療法に関する注意事項】

1. 服装について

- ・ 腕から点滴をする方は、腕を締め付けない服装でお越しください。
- ・ ポートから点滴をする方は、首元を締め付けない服装でお越しください。



2. 車の運転について

- ・ アルコール製剤の点滴をされる方は、当日は車の運転ができません。
- ・ 抗アレルギー剤の薬を飲まれる方・点滴をされる方は、眠気を催す場合がありますので、当日は車の運転ができません。
上記の薬剤を使用される方は、ご家族などの送迎・公共交通機関を利用して来院ください。

3. 化学療法中の過ごし方について

- ・ 点滴中は、化学療法センターより外にでないでください。
- ・ 「何かおかしいかな？」と感じたときには、直ぐにナースコールでお知らせ下さい。
- ・ 携帯電話はマナーモードにいただき、使用は控えください。
- ・ 貴重品の管理はご自身でお願いします。



4. 化学療法終了後について

- ・ 出血する可能性があるため、点滴終了後 24 時間は点滴をした腕で重い荷物を持つ、強い力を入れるなどの動作は避けてください。
(血液が固まりにくくなる薬や、サラサラにする薬を飲まれている方は、特に注意ください。)

このような時は受診しましょう

下記のような症状がある場合は、次の診察を待たずに受診ください。



① 発熱

38度以上の熱が出た場合（病院から出された解熱薬以外の薬は飲まないでください）

② 吐き気

気持ち悪くて1日に水分が500mlも飲めない状態が2日間続いた場合

糖尿病の薬を使用している方で、食事が食べられない場合

処方薬を内服されている方で、吐き気が強く内服できない場合

③ 下痢

水っぽい便が1日に5回以上あり、水分が500mlも飲めない状態が2日間続いた場合

④ 便秘

普段より便が出る間隔が2日間長くなり、薬を飲んでもお腹が張って苦しい場合

⑤ 点滴をした腕の異常

点滴をした腕の痛み、腫れ、赤み、熱っぽい感じがある場合

⑥ ポート埋め込み部・インフューザーポンプの異常

針が入っている周りの皮膚が濡れている、赤くなる、腫れてくるなどの症状がある場合

針が途中で抜けた場合や、管が途中から外れた場合

翌日になっても薬の量が減らない場合

ご心配・ご不安な点などありましたら、下記までご連絡ください。

刈谷豊田総合病院 化学療法センター

Tel 0566-25-8009（直通）

受付時間 8:30～16:00（月～金曜日）

※診察予約のない日の診察当日受付は11:00までです。

刈谷豊田総合病院 救急外来（上記以外の時間）

Tel 0566-25-8300（直通）